

日本共産党 西宮市会報告

2015年8月 NO.100

発行/ 日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号（西宮市役所内）
Eメール：nmc30547@nishi.or.jp TEL.0798-35-3368 FAX.0798-22-7815
ホームページ http://nishinomiya.jcp giin.net/

新しい委員会担当と 議会役職



杉山たかのり

団長
市監査委員
総務常任委員
☎35-1682



佐藤みち子

幹事長
健康福祉常任委員
都市計画審議会委員
☎42-2856



上田さち子

阪神水道企業団監査委員
建設常任委員
☎35-2813



野口あけみ

教育こども常任委員会副委員長
広報広聴特別委員会副委員長
☎34-7329



まつお 正秀

幹事
民生常任委員会副委員長
☎73-0775



庄本 けんじ

建設常任委員
社会福祉審議会委員
☎42-0921
(市外局番は0798)

6月議会

6月11日から改選後の新議会がスタートし、6月議会が6月18日から7月10日まで開催されました。今期は、常任委員会を4から5に増やし、議会の広報広聴特別委員会が設置されました。日本共産党西宮市会議員団は、公約実現に全力をあげるとともに、市議会が違憲の「戦争法案」の国会審議と並行して行われたことから、「戦争法案許すな!」との立場で、奮闘しました。

6名に増えた日本共産党西宮市会議員団は、第3会派に躍進。議会運営委員会には佐藤、まつお、市監査委員に杉山、阪神水道企業団監査委員には、上田の各議員が選出され、議会での発言力が強まりました。6月議会は、最大の焦点となっている「戦争法案」阻止の論戦の場となりました。安倍政権による戦争法案は、憲法審査会で与党推薦を求めた憲法学者全員が「違憲」と表明。世論は「反対」が6割、「国会の成立に反対」は8割と、審議すればするだけ批判の声が多数に。日本共産党市議団は「慎重審議を求める意見書」を提出し、庄本議員が一般質問で市長の見解を問いました。また市民団体からは、「法案の廃案を求める請願」が2件提出されました。総務常任委員会の請願審査では杉山議員の質疑で、海外で自衛隊が武力行使をするという法案の違憲性が明らかに。しかし、他議員からは質疑はなく、自



「違憲の戦争法案NO!」の声 意見書や請願採択に奮闘! 日本共産党

民・公明など請願に反対した議員は「国民を守るため」「安全

保障環境が変わった」など、国会で破綻した主張を討論で繰り返しました。本会議では、請願の紹介議員となった上田議員が賛成討論で、「憲法違反が明々白々となった戦争法案は、廃案するしかない。」と採択を求めましたが、意見書と2件の請願は、賛成少数で否決されました。

「戦争法案」に関する請願、意見書案に対する各派の態度

会派・政党名 件名	政新会	公明党議員団	日本共産党西宮市会議員団	蒼士会	市民クラブ改革	むの会	すべての西宮市民	維新の党議員団
「平和安全法制」の慎重審議を求める意見書提出の件	×	×	○	×	○	○	○	退場
「安全保障関連法案」のすみやかな廃案を求める意見書についての請願（全日本年金者組合西宮支部）	×	×	○	×	○	○	○	×
安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の廃案を求める意見書を国に提出することを求める請願（新日本婦人の会西宮支部）	×	×	○	×	○	○	○	×

「廃案」を求める請願に反対した議員

政新会（大石・上谷・川村・坂上・篠原・田中・中川・やの・吉井）
公明党（大原・竹尾・町田・松山・八代・山口・山田）
（大川原議長は採決に加われず）
蒼士会（菅野・草加・澁谷・はまぐち・八木）
維新の党（岸・福井・わたなべ）

* 市民クラブ改革 花岡は退場（会派は賛成）

「慎重審議」を求める意見書に反対した議員

政新会（大石・上谷・川村・坂上・篠原・田中・中川・やの・吉井）
公明党（大原・竹尾・町田・松山・八代・山口・山田）
（大川原議長を除く）
蒼士会（菅野・草加・澁谷・はまぐち・八木）

* 維新の党（岸・福井・わたなべ）は退場

（敬称略）

一般質問

西宮養護学校建替え、
今年度は基本計画策定へ

佐藤みち子議員

か、「移転新築」かを検討し、2015年度中に基本計画を策定すると答弁しました。

200人を超える大規模保育所は子どもにとっていいのか？

次に佐藤議員はむつみ・芦原保育所を統合移転

し、新たに200人を超える大規模保育所にしようとしている問題について質問しました。

保護者からは大規模保育所で一人ひとりの子どもを大事にする保育ができるのか。保育士からは200人を超える子どもを把握できない。との声があがっています。

保育所は長時間保育のため朝・夕は合同保育になり、全保育士が子どもたちの名前、特徴、保護者の

顔や名前等を把握する必要があります。大規模保育所ではすべての子どもを把握することは困難です。

保護者や保育士等現場の意見をしっかり聞き、見切り発車で計画を進めることのないよう厳しく指摘しました。



庄本けんじ議員

高すぎる国民健康保険料
引き下げられるはず

佐藤みち子議員は、築50年を過ぎ、雨漏り等施設・設備の老朽化で医療ケアの必要な子どもが快適に過ごすことができない養護学校の建替え計画について質問しました。

初質問に立った庄本けんじ議員は、生活実態から、国保会計への一般会計からの繰り入れを、国民健康保険料の引き下

10億円から7億円に減額

した問題をとりあげ、「減額しなければ、保険料を引き下げることができたはずだ」と追及。

市は「その相当額は保



まつお正秀議員

借り上げ住宅追い出し
強行やめよ

そうした人たちにも弁護士を通すことなく個別訪問していることが分かりました。まつお議員はこ

うした対応を、住民に冷たい、しかも非常識なものだときびしく追及しました。

災害援護資金で
大きく前進の答弁すべての子どもの
医療費を無料に「マイナンバー制度」の
実施を延期せよ！

意見書は否決

日本年金機構がウイルスメールによる不正アクセスを受け、年金情報約125万件が外部に流出した事件を契機に「マイナンバー制度」に国民の不安と懸念が大きく広がっています。

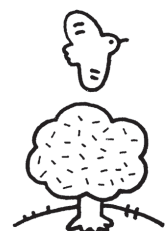
国は、国民がほとんど理解していないもので見切り発車させようとしており情報漏えいやプライバシー侵害、不正使用などの懸念が

知などを延期し、さらなる検討や議論を行うよう求める意見書を提案しましたが、賛成少数で否決されました。

庄本議員は、市長が公約に掲げた、乳幼児等医療費助成制度の所得制限撤廃についても質問。

子ども医療費の無料化は、本来、すべての子どもを対象にすべきものです。義務教育と同じ考えに立ち、子育て支援として位置づけ、すべての子どもに広げることが強く要求しました。

まつお正秀議員は、UR借り上げ市営住宅問題で質問。青木町のシティハイツは、この9月に市の借り上げ期限がくることから、市は、要配慮世帯以外に明け渡しを求め、明け渡さなければ訴訟をするというおどしとされる文書を送りつけています。そこで、やむなく弁護士に委任されている方たちがおられますが、



また、まつお議員は災害援護資金貸付金返済問題でも質問。阪神大震災では今なお月々1000円などの少額償還を続けている方がおられます。東日本大震災では、国は返済期限後10年を経た時点で無資力状態であれば免除としており、日本共産党は一貫して阪神大震災でも免除要件を拡大する様求めています。今回、免除要件が一定拡大され、これまでより前進しました。



市営住宅の共益費

市が家賃と一括徴収へ

今は住民が自主管理している市営住宅共用部分の光熱水費等の共益費徴収。高齢化などにより困難となってきたため、各団地の総会で決議すれば、市が家賃とともに一括徴収し、指定管理者が管理を行う方向を明らかにしました。9月議会には関連の条例改正が行われる予定です。